

新たに認定看護師が誕生しました

はじめまして。このたび、慢性心不全看護認定看護師となりました近下かおりです。

慢性心不全看護認定看護師とは、心不全患者とその家族の急性増悪期から安定期、終末期までの療養生活を支えていく看護師です。

2014年7月現在、まだ全国で184名しかいない歴史の浅い認定看護師です。

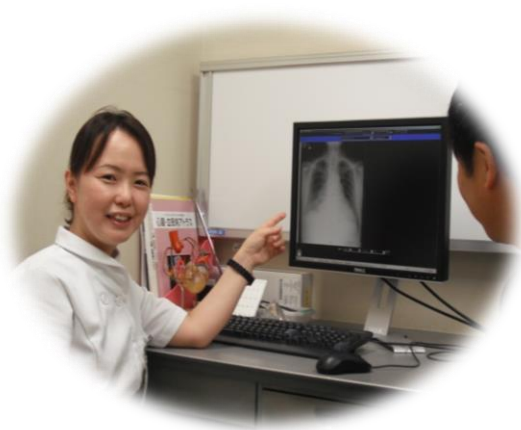
Q1:なぜ、慢性心不全患者を対象とするの？

慢性心不全は高血圧、虚血性心臓病、心筋症などの心疾患の最終的な状態で元の状態に戻ることはなく、増悪と寛解を繰り返し少しずつ悪くなっていきます。慢性心不全を有する患者の多くは65歳以上の高齢者であるといわれています。慢性心不全の特性として高齢化だけでなく、心不全の原因疾患と様々な既往歴のため、その病態や治療は複雑で多様化しています。また、循環器疾患は傷病分類別の医療費の中で最も高い特徴があります。

慢性心不全増悪の誘因は「塩分・水分の不徹底」「内服薬の不徹底」「身体の過活動」「感染など体調不良」といった生活に関連した因子が多く、疾患そのもの管理だけでなく、疾患に影響を及ぼす生活管理・生活調整が重要となります。このような背景から、慢性心不全患者の生命予後の改善、QOLの維持・向上のため慢性心不全患者が対象となりました。

Q2:慢性心不全看護師はどんなことをするの？

Q1でも述べたように心不全は疾患そのものが自然悪化するより、生活の影響を受けて増悪することが多いため、**心不全の病態をアセスメント**し、患者の循環動態の特性とそれらが生活環境・日常生活行動からどのような影響を受けるのか把握し、**病期に応じた症状モニタリング**を行いながら、患者が**QOLを維持した療養生活**を過ごすための**知識・技術を獲得**できるように**教育・相談支援を提供**し、患者の自己管理能力を高めていきます。



【地域の皆様へ】

慢性心不全患者は急性増悪期から安定期、終末期と継続して患者とその家族を長期間支えていくことが大切となります。そのためには地域の皆様の協力が必要です。今後は、地域を含めたチーム医療を継続的に行っていくためにその調整役として関わっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。